

民主党 葛飾

区民の貴重な税金を無駄にせず効果的な予算執行を

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響で、お亡くなりになられた多くの方々のご冥福を心からお祈りしますとともに、被災された方々並びにご親族さまに対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

総務費 職員健康管理費は、精神疾患、うつ病等と診断された職員への支援体制の充実と職場復帰への環境整備をより一層図ることを望む。研修経費は、研修内容のさらなる充実を望む。広報活動経費は、月3回発行の広報誌デザイン、色などが別し易くなるよう望む。また、配布漏れがないよう求める。広聴会経費は、区民と区長との意見交換会を実施していない地域への対応などきめ細かく聞いていくことを要望する。大学誘致推進経費は、地域との連携強化、施設開放など区民サービス向上を求める。耐震診断・改修事業経費は、区民の安心安全を守るため、建て替えの推進、助成額の拡大、整備地域の拡大を都に要望するなどあらゆる角度から実現に向け取り組んでいくことを要望する。

福祉費 成年後見制度審判申立は、障害者の保護者の高齢化などにきめ細かい対応を要望する。企業内通所授産事業費助成は、中間就労施設として、拡大も含めて検討を求める。高齢者虐待防止ネットワーク経費は、虐待の実態を顕在化し、課題解決実現の検討を求める。いきいきふれあいサロン事業委託費は、訪問者固定化の懸念があり、新規参加者獲得の工夫を求める。うんどう遊園事業経費は、ラジコ体操の指導者など、地域の方の活用を求める。母子健康診査事業経費は、発達に心配がある子どもの早期発見のため、乳幼児健診の充実を求める。特定不妊治療費は、使い易くするため事業拡大と周知徹底を望む。生活保護費は、不正受給の防止に一層努めることを求める。

衛生費 地域医療連携事業経費は、在宅医療介護の充実を図る観点から評価する。

環境費 屋上・壁面緑化推進経費は助成件数増加方針を評価する。PRを含め積極的推進を望む。リサイクル推進事業経費は、資源集団回収コストを含む再構築や抜取り防止策を望む。

都市整備費 建物高さ規制に関する調査委託費は、権利者の資産など課題の中で慎重かつ丁寧に進めることを望む。高齢者等民間賃貸住宅入居支援経費は、財団だけでなく、民間活用を検討も望む。街づくり事業経費の中で、立石駅周辺再開発は地権者の立場・考え方を理解し慎重な対応を望む。新小岩駅周辺街づくりは、南北自由通路の事業概要を地域に周知し、また、駅舎の改良を含む整備については、地域要望及び区の課題を整理し取り組むことを望む。堀切地区の街づくりは、防災・観光の観点を取り入れ、より多くの地域住民の意見を吸上げる工夫を望む。路面冠水設備自動通報システムについて、ゲリラ豪雨による冠水は予測困難だが、冠水対策の一層の対応を望む。

教育費 教育総務費は、学習支援講師等の外部人材の活用を評価する。一層の活用のため、研修体制の整備などを求める。理科支援指導員は、東京理科大学の学生の活用を望む。教育情報化推進経費は、多大なコストがかかるが、それ以上の効果を上げるよう教材のみでなく教師のメンタルヘルス対策などの充実も望む。特色ある学校づくり推進経費は、校長の裁量権拡大を含め、学校間の公平性が保たれた上で、更なる拡充を図るよう望む。生活スキルアップ指導補助員経費は、ニーズに合わせて適切な対応が出来るよう、一層の人員確保と予算措置を望む。中学校費の特別支援学級教室改修等工事費は、車椅子の生徒や高齢の地域利用者に対する配慮を行い、エレベーター設置など、一層のバリアフリー対策を求む。

介護保険事業特別会計 人材育成の観点から専門系の設置を評価する。介護人材の基盤整備の一層の工夫を求む。

無所属(※1)

ムタづかいを止めて防災対策の充実を

厳しい経済情勢の下での新年度予算案は先例にならった官僚主導型予算で相も変らず不要不急の冗費が多く、肝心の区民の生命を守るための防災対策費や福祉の費用の予算計上が不十分で極めて心細い限りである。特に老人福祉対策費が都内23区中で最低とは何とも情けない次第である。

また一番ゆるがせにできない防災対策費も不十分であって震災時に近隣住民が緊急避難をして一夜を明かしたりする一時避難所には小中学校が割当てられているが実際上の運営は施設開放協力員とPTAのお母様方と地元町会の役員さんに丸投げをされており、非常時の際に約7、8百人の老若男女や乳幼児が駆け込んで来た際の受入れや給食、排泄、看病などの手当や対応はどうするのか。

現状のままでは、表向き形は整っているように見えるが、実は中身がなく、非常時の際には役に立たない厄介者と化してしまう。年に一度の少数役員だけの打ち合わせ会議(顔合わせ)だけではなく防災担当の幹部職員も加わって実のある対策を立てて訓練を行うべきである。また駅前の雑居ビルには建築法令等に反した物件が多々存在し、三階建以上の建物が多く、内部に入ると廊下や階段、踊り場等が狭隘であって、多数の人々が集って夜遅くや明け方まで放歌高吟しているが、この建物で、地震や火災が発生した場合には恐ろしい地獄図絵を現出するであろう。これらの繁華街に放置されている不適正な建築物に対する調査や不適正部分の是正指導などはいかが相なっているのであらうか。まさか発火危険物を放置しているのではあるまいとは思ふものの寒心に堪えない。区はすべての物事に真剣に取組め。

無所属(※2)

指名競争入札、不透明で高い予定価格を改めよ

駅前清掃などの業務委託はここ数年5つのエリアに分けて指名競争入札で行っているが、いずれも同じ業者が同じエリアを落札、また落札率が99%と非常に高い上、新柴又の駅前の清掃単価が1回2万円、金町南口駅前トイレで1回1万円など予定価格が高めに設定されているように思える。しかも複数の区内業者に見積りを取って予定価格を決めているなど不透明な部分が多いため積算根拠を示すなど透明化を図りたい。また競争性を高めるため、一般競争入札に変更すべきである。

学校の水道無駄づかいをなくせ 東金町中学校のプール流出事件では500万円もの無駄な出費、細田小学校でも1年以上漏水に気付かずそれ以上の無駄な出費が発覚するなど水道管理がずさんすぎる。区民の税金であることを自覚し、学校側には年間使用量の目安を示すなどして管理徹底を指導されたい。また梅田小学校、青戸中学校、新宿中学校ではプールの水道料金だけで小規模校1年分利用している事例も散見されるので改めてほしい。一方、制服を導入する小学校では就学援助等の配慮を求める。学校指定物品や修学旅行、卒業アルバムなど私費会計についても業者の競争性を確保して少しでも購入価格を下げる努力を行い、保護者の経費負担の軽減を図りたい。

フィットネスパークに避難所の備えを 防災活動拠点であるにもかかわらず防災倉庫をはじめ避難所としての機能が基本設計に全く入っていないため、改めるよう求める。また、要請してきた中央図書館の年末年始の開館が実現したことは高く評価したい。今後も住民の視点に立った行政を望む。

無所属(※4)

より充実した区民生活第一の区政運営を期待する

この度の東北地方太平洋沖地震により被害を受けられました皆様から心からお見舞い申し上げます。また、一日も早く復興されますようお祈りいたします。

まず区民生活を第一にした23年度の予算は高く評価する。一方、「区民第一・現場第一」「人づくり」「スピードアップ」を主眼とする区政運営に一層期待するものである。総務費については、限られた財源の中で、より効果のよい区民サービスに努められており、高く評価する。なかでも来庁した区民が、速やかに手続きができるよう総合庁舎の総合窓口の推進に期待する。更には、庁舎建て替えなどに向け、基金を計画的に積み立て、財政基盤の確立を望む。産業経済費については、まず区内産業事業者につき、安心して事業運営ができる中小企業融資等の拡充は、評価し、期待する。なかでも債務一本化融資制度を継続して実施することは、評価する。福祉費については、概ね妥当な予算であると評価する。雇用状況が厳しい中で、本区が障害者の就労支援に力を入れてきたことは、これまで同様評価する。なかでも新規事業として行われる障害者チャレンジ雇用対策は、知的障害者の雇用を促進する上で大変重要であり、今後更なる努力を期待する。衛生費については、長年の願望だった保健所の開設は、大いに評価する。環境費については、概ね評価し期待するものである。なかでも現在推進している各種の基本計画は、重要である故、速やかに取り組んでいただきたい。都市整備費については、評価する。特に新小岩駅周辺開発整備が着々と進んでいることは、本区の都市整備にとって不可欠である。教育費については、本区で初めての小中一貫教育校は、今後の教育向上の学舎として期待する。

また、一部の委員から提出された平成23年度葛飾区一般会計予算の組み替えを求める動議については、提出者代表から提案説明を受けて採決を行い、動議は賛成少数で否決されました。その上で、付託議案6件について順次採決を行い、「平成23年度葛飾区一般会計予算」、「平成23年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「平成23年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」、「平成23年度葛飾区駐車場事業特別会計予算」は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、「平成23年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」、「平成23年度葛飾区用地特別会計予算」は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

予算審査特別委員会委員長報告(要旨)

予算審査特別委員会は、平成23年度各会計予算について審査を行うために、2月21日の本会議において、39名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費・総務費・産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費並びに各特別会計予算を所管しました。

3月3日の委員会では、総括質疑を実施し、9名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立って質疑が交わされました。また、3月4日から9日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、3月11日に当委員会は、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。